

もえるごみ混入状況調査分析

●その他に分別されるべきごみは南側に比べ北側では0.8%多い。生ごみを除いたもえるごみは南側では3.5%多い。

ただ、内訳を見ると、資源ごみ(特に包装紙などの雑がみ)は南側が1.8%多い。新住民の多い南側で、日常的に多く排出される包装紙が多く含まれ、日常的な分別意識が薄い可能性がある。

剪定枝は北側が2.3%多い。農地の多い北部の特性が見えている。剪定枝のステーション回収を開始し5年ほど経過するが、これまでのもえるごみに入れる習慣が続いている可能性がある。

●生ごみは、収集場所別では南側に比べ北側では1.8%多い。季節別では春から冬にかけて増加。冬は夏、秋と比較し、8～9%程度多く、春と比較すると15%多い。

北側では農業で出た野菜くずか、やや多く感じられる。冬はみかんや葉物野菜のくずも多い。

夏は暑いことや、生ものや野菜など、保存がきかない等の理由で料理をせず、冷凍食品や出来合いのものを購入、冬は食物も日持ちし、料理をする機会が多くなる等で、生ごみが多くなっている可能性がある。

夏と秋にその他に分別されるべきごみが多く、比較的、資源ごみとプラスチック製容器包装の割合が多くなっており、その冷凍食品や出来合いのものの包装、トレー等の混入が多く混入している可能性がある。

●多いときで生ごみがもえるごみの5割近くを占めることから、ごみ減量・資源化を進めるため、生ごみに対する施策が重要となる。

生ごみの自家処理による減量を町として推進。収集運搬費用の軽減や、処理費用や施設への負担軽減も図るが、町が設置を推進している生ごみ処理器(非電動)は冬場に処理能力が落ちる。生ごみが多い時期に生ごみの自家処理が進みにくいとすると設置を推進しても、冬場にもえるごみとして出される生ごみも多くなると考えられる。自家処理による減量を第一と考えるが、自家処理しきれない生ごみや、自家処理ができない家庭での生ごみに対しては、分別収集をし堆肥化を行っていくことも検討する。

●その他に分別されるべきごみも多いときで3割を占める。資源として売却できるものも多く含まれる。

今後、この結果の特性、地区や季節に合わせた分別の呼びかけ(例、春～夏:生ごみ処理器のPR、夏～冬:剪定枝の分別収集の呼びかけなど)や啓発を行っていく。

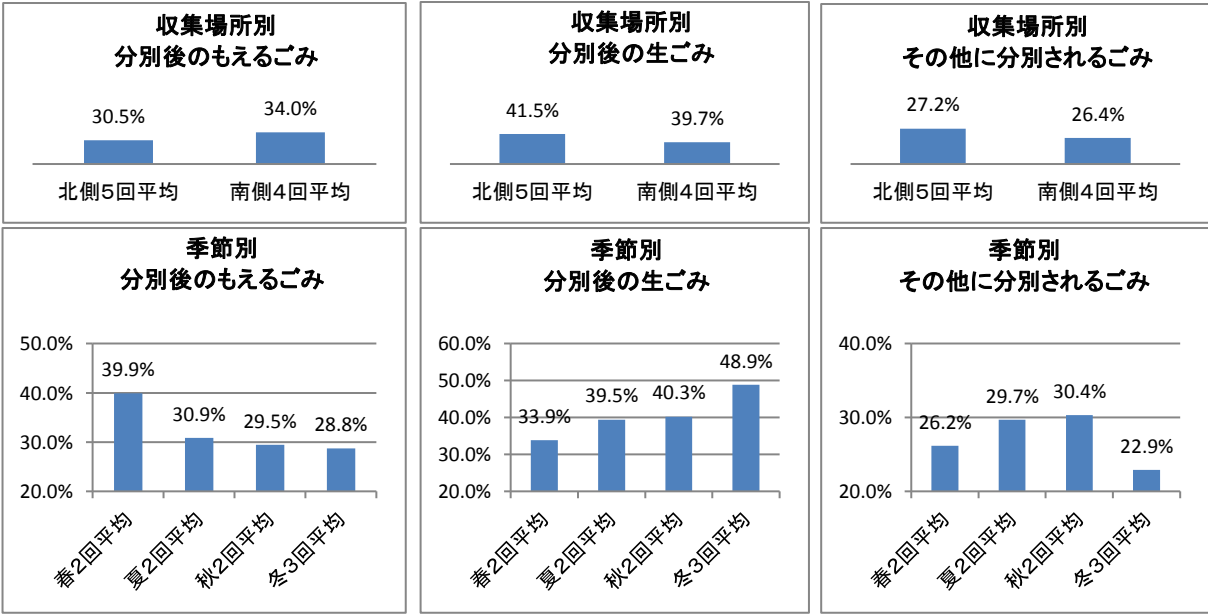
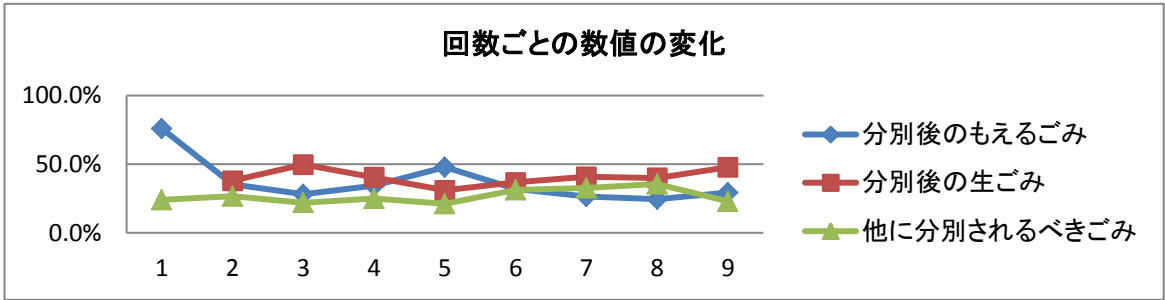
広報やあじさい講座を活用し、調査の結果、混入が多く見られたものの具体的な分別方法の説明を行うことや、環境フェアや各種環境系の会議の場での結果の周知などを行っていく。

もえるごみ混入状況調査・数値まとめ(第1～9回)

	回数	実施年月	分別前のもえるごみ	分別後のもえるごみ	分別後生ごみ	その他に分別されるべきごみ	収集場所	季節	※ここでの『分別後のもえるごみ』は、生ごみを除いたもえるごみ。 1回目は生ごみの分別は実施していない。
結果 (%は分別前のもえるごみに含まれている割合)	1	H23 2月	132.7kg	100.9kg 76.0%		31.8kg 24.0%	北側	冬	※収集場所 北側:岡野・金井島・延沢・円中・上島・河原町 南側:宮台・牛島・榎本・中家村・下島・ハレット
	2	H23 8月	125.4kg	44.3kg 35.3%	47.6kg 38.0%	33.5kg 26.7%	南側	夏	
	3	H24 2月	86.4kg	24.4kg 28.2%	43.0kg 49.8%	19.0kg 22.0%	南側	冬	
	4	H24 10月	113.5kg	39.0kg 34.4%	46.0kg 40.5%	28.5kg 25.1%	北側	秋	
	5	H25 3月	103.0kg	49.25kg 47.8%	32.0kg 31.1%	21.75kg 21.1%	南側	春	
	6	H25 5月	119.8kg	38.3kg 32.0%	44.0kg 36.7%	37.5kg 31.3%	北側	春	
	7	H25 8月	123.5kg	32.6kg 26.4%	50.5kg 40.9%	40.4kg 32.7%	北側	夏	
	8	H25 11月	115.85kg	28.35kg 24.5%	46.3kg 40.0%	41.2kg 35.6%	南側	秋	
	9	H26 2月	130.55kg	38.3kg 29.3%	62.5kg 47.9%	29.75kg 22.8%	北側	冬	

		分別後のもえるごみ	分別後生ごみ	その他に分別されるべきごみ
9回平均		32.2%	40.6%	27.2%
収集場所による変化	北側5回平均	30.5%	41.5%	27.2%
	南側4回平均	34.0%	39.7%	26.4%
季節による変化	春2回平均	39.9%	33.9%	26.2%
	夏2回	30.9%	39.5%	29.7%
	秋2回	29.5%	40.3%	30.4%
	冬3回	28.8%	48.9%	22.9%

※1回目の分別後のもえるごみと生ごみは分別を実施していないため平均から除いた。



その他に分別されるべきごみの内訳
 (%は分別前のもえるごみに含まれている割合)

回数	実施年月	分別前のもえるごみ	資源ごみ	プラスチック製容器包装	もえないごみ	剪定枝	町では収集しないごみ	収集場所	季節
1	H23 2月	132.7kg	23.2kg	6.7kg	0.0kg	1.9kg	0.0kg	北側	冬
			17.5%	5.0%	0.0%	1.4%	0.0%		
2	H23 8月	125.4kg	20.1kg	8.3kg	0.0kg	5.1kg	0.0kg	南側	夏
			16.0%	6.6%	0.0%	4.1%	0.0%		
3	H24 2月	86.4kg	10.0kg	6.0kg	2.0kg	1.0kg	0.0kg	南側	冬
			11.6%	6.9%	2.3%	1.2%	0.0%		
4	H24 10月	113.5kg	13.0kg	6.0kg	0.5kg	9.0kg	0.0kg	北側	秋
			11.5%	5.3%	0.4%	7.9%	0.0%		
5	H25 3月	103.0kg	14.0kg	4.75kg	0.5kg	2.5kg	0.0kg	南側	春
			13.6%	4.6%	0.5%	2.4%	0.0%		
6	H25 5月	119.8kg	17.5kg	7.5kg	1.0kg	9.5kg	2.0kg	北側	春
			14.6%	6.3%	0.8%	7.9%	1.7%		
7	H25 8月	123.5kg	20.8kg	13.25kg	0.5kg	5.75kg	0.1kg	北側	夏
			16.8%	10.7%	0.4%	4.7%	0.1%		
8	H25 11月	115.85kg	27kg	11.3kg	1.9kg	1kg	0kg	南側	秋
			23.3%	9.8%	1.6%	0.9%	0.0%		
9	H26 2月	130.55kg	14.5kg	11kg	0.75kg	0kg	3.5kg	北側	冬
			11.1%	8.4%	0.6%	0.0%	2.7%		

		資源ごみ	プラスチック製容器包装	もえないごみ	剪定枝	町では収集しないごみ
9回平均		15.1%	7.1%	0.7%	3.4%	0.5%
収集場所	北側5回平均	14.3%	7.2%	0.5%	4.4%	0.9%
	南側4回平均	16.1%	7.0%	1.1%	2.1%	0.0%
季節	春2回平均	14.1%	5.4%	0.7%	5.2%	0.8%
	夏2回	16.4%	8.7%	0.2%	4.4%	0.0%
	秋2回	17.4%	7.5%	1.0%	4.4%	0.0%
	冬3回	13.4%	6.8%	1.0%	0.9%	0.9%

その他に分別されるべきごみ内訳の数値の変化(%)

